

# N 中央労福協 ニュース NEWS LETTER



労働者福祉中央協議会  
NATIONAL COUNCIL OF WORKERS' WELFARE

発行人 南部 美智代

No. 211

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 3-8 中北ビル 5F

TEL 03-3259-1287 URL <https://www.rofuku.net>



## 「2024 全国福祉強化キャンペーン」に向けグループで意見交換 第 1 回地方労福協会議を開催



2023 全国福祉強化キャンペーン取組集約をふまえ次年度に向けグループワーク形式で意見交換する参加者ら =2 月 28 日、東京都内

中央労福協は 2 月 28 日、連合会館で第 1 回地方労福協会議を開催した。地方労福協、連合、労金協会、こくみん共済 coop から 58 名が出席した。コロナ禍より Web 開催や hybrid 開催が続いてきたが、今回はグループワークを行うこともあり対面での開催とした。会議は、中央労福協・吉成副会長（東部労福協会長）が座長を務めた。

冒頭、令和 6 年能登半島地震発災を受け、石川、富山の両県労福協より被災地報告を受けた。その後、中央労福協報告、各ブロック活動報告に続き、「2023 全国福祉強化キャンペーンにおける取組集約結果」「奨学金制度改善・教育費負担軽減の取り組み」「新たな運動の展開と組織運営に基づく 2024 年度の取り組み」を報告した。

また、連合から「ゆにふあんマップ」の活用について、労金協会から「お金の世界の歩き方」「マネートラブルにかつ！改訂第 7 版」の発行について、こくみん共済 coop から「能登半島地震に関する対応状況と住まいる共済の制度改定」について報告を受けた。

そのうえで、グループに分かれて意見交換を行い、発表では、労金・こくみん共済 coop との連携行動ほか、人材育成、自治体要請、事務局体制等について意見交換ができたと報告があった。会議時間はタイトであったが、ブロックの枠を超えたグループ分けにより、他のブロックの取り組みを含めた様々な情報交換ができる良い機会となったと声が寄せられるなど、「2024 全国福祉強化キャンペーン」に向けて考え、意見を交わす取り組みとなった。

### No.211 Topics

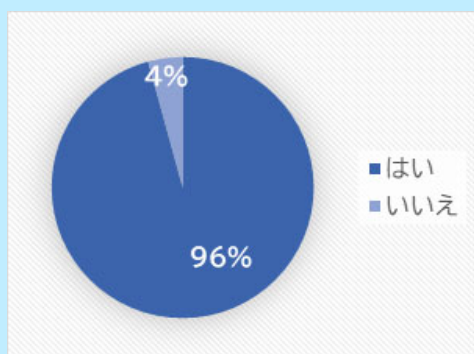
- 2 面 2023 キャンペーン取組集約アンケート結果一部紹介
- 3 面 被災者生活再建支援法改正に係る現状と今後の課題（第 41 回 Web 学習会）
- 3 面 西部ブロックより第 54 回定期総会を開催
- 4 面 中部ブロックより第 47 回定期総会を開催
- 4 面 連合・教育文化協会より「私の提言」募集のご案内

# 2023 全国福祉強化キャンペーン取組集約アンケート

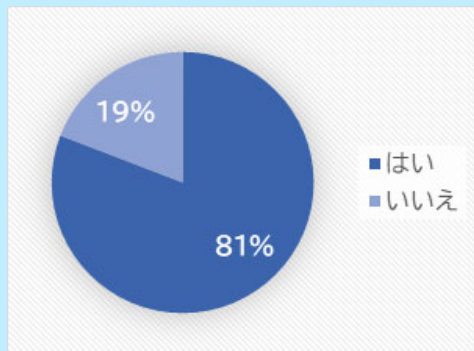
## アンケート集約結果概要の一部をご紹介します

第 1 回地方労福協会議（第 1 面参照）で共有した 47 地方労福協の取組集約アンケート結果から一部を抜粋する。全国統一で行う「ミニマム行動」ではいずれも 80% 以上の取り組み率となったほか、「チャレンジ行動」では地域活動の実践が昨年より上昇しており、地域ですそ野を広げる取り組みが広がった。

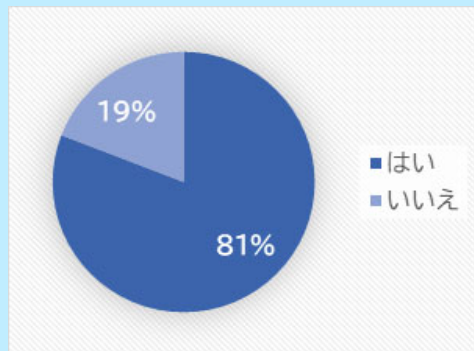
### ろうきん、こくみん共済 coop 等との連携



### ガイドブック「もう悩まないで。奨学金返済 Q&A」の活用



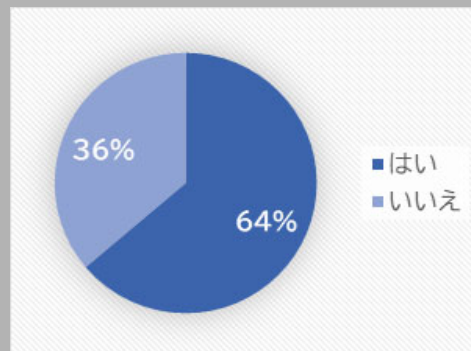
### 自治体要請行動



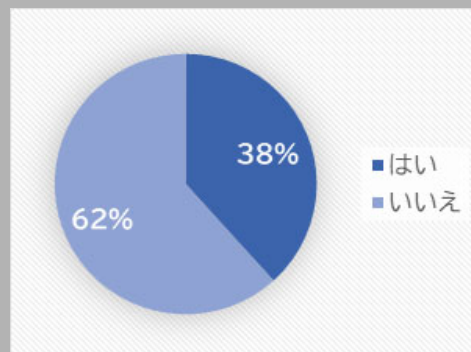
### ミニマム行動（全国統一行動）

### チャレンジ行動

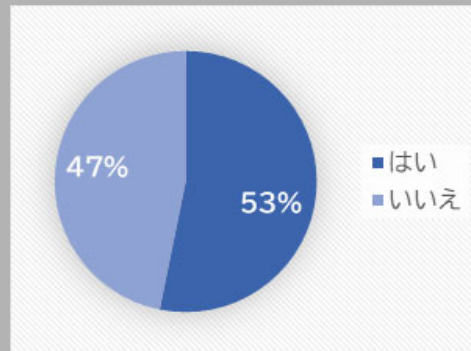
### 地域活動の実践



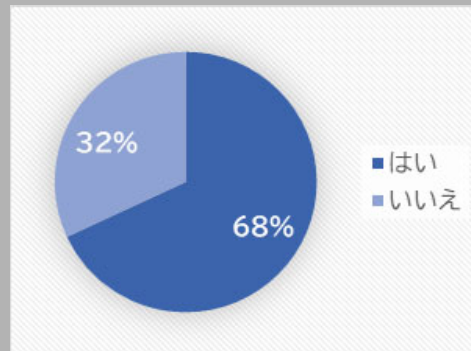
### ろうふくエール基金の活用検討



### 労働団体への要請



### 事業団体との連携



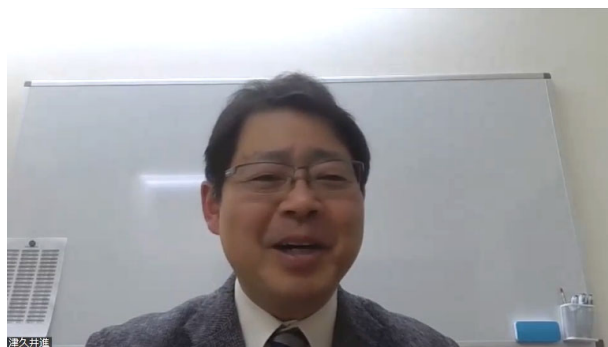
## 被災者生活再建支援法改正に係る現状と今後の課題 第 41 回 Web 学習会を開催

中央労福協は 3 月 13 日、弁護士の津久井進氏を講師にお招きし、「被災者生活再建支援法改正に係る現状と今後の課題」をテーマに第 41 回 Web 学習会を開催、124 名が参加した。

冒頭、発災後に被災者が直面する 4 つの不安として、「生活・健康面の不安」「情報がない不安」「再建のためのお金の不安」「相談相手がいない不安」を挙げ、中でも「情報」「お金」「相談」の不安については、これまで十分な対応がされてこなかったと説明された。

これまでの災害を経て、被災者を中心とした市民のほか、こくみん共済 coop、生協、連合、地方自治体など多くの人が声をあげ続けたことで、「被災者生活再建支援法」が 1998 年に創設され、2007 年に改正がされてきた。第 1 条には「住民の生活の安定と被災地の速やかな復興に資することを目的とする」とあるものの、第 2 条以下では住宅の被災に偏った内容となっており、例えば被災者自身の怪我や職を失ったという被害は対象にならないこと等の課題があると指摘された。

その上で、法改正に向け継続して声をあげることのほ



か、被災者支援の軸となる「災害ケースマネジメント」として、「被災者一人ひとりに必要な支援を行うため、被災者に寄り添い、その個別の被災・生活状況などを把握し、それに合わせて様々な支援策を組み合わせた計画を立て、連携して、生活再建を支援するしくみ」が必要と語った。

これらを踏まえ「被災者のつぶやく生の声を聴くことこそが大切」とまとめ、「被災者」のあなたは悩みを抱え込まず相談すること、「専門家」はその生の声を聴くこと、「立法事実」の積み重ねにこそ重要な意義があるとし、諦めない・忘れないことが次の被災者のためになると呼びかけた。

## 西部ブロックより 第 54 回定期総会を開催

西部労福協は 2 月 21 日、徳島市「J R ホテルクレメント徳島」において第 54 回定期総会を開催した。冒頭、1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震で尊い命を落とされた方々に哀悼の意を表し黙祷を行ったのち、西部労福協を代表して森会長が挨拶した。

総会には 66 名（来賓・傍聴含む）が出席し、来賓として中央労福協南部事務局長、徳島県知事（代理:商工労働観光部産業振興統轄官）、徳島市内藤佐和子市長に御出席いただき、各々から連帯と激励の挨拶をいただいた。

2023 年度活動報告、2024 年度活動方針など、すべての議案について満場一致で承認され、新会長として徳島県労福協の森本佳広会長、新事務局長として徳島県労福協の梶本一夫専務理事が選出して新年度の活動をスタートした。

総会終了後には、地域活性化・地方創生などを題材とした映画、「波乗りオフィスへようこそ」を上映し、地域との繋がりなどについて学習を深めた。



西部労福協：森信之会長



西部労福協：森本佳広新会長



## 中部ブロックより 第47回定期総会を開催

中部労福協は2月26日、福井市で第47回定期総会を開催した。

第46回の総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、書面決議の形式をとったため4年ぶりの実開催となった。

会の冒頭、1月1日に発災した能登半島地震で亡くなられた方のご冥福を祈り、1分間の黙とうを行った。議長に橋岡代議員（福井労福協）を選出し会を進めた。幹事会を代表し可知会長（愛知労福協）は、能登半島地震のお見舞いと引き続きの連帯を呼び掛けた。また、社会貢献と事業団体の事業推進という二つの柱、特に労働者福祉運動の原点である福祉事業団体の事業推進を訴え、最後に、2年間の事務局への協力に対して御礼を述べた。

続いて来賓として、中央労福協・南部事務局長、福井県から伊万里労働部長から挨拶をいただいた。

議案審議では、2024-25年度活動方針案をはじめとするすべての議案が承認された。また、石川・富山労福協から能登半島地震に関する報告も受けた。



役員改選に伴い事務局が愛知県から奈良県に移り、会長と事務局長は奈良県労福協の水野理事長と池本専務理事が務めることとなった。

新役員を代表して水野新会長からの挨拶、議長降壇の挨拶を受け、会を閉じた。

総会終了後の記念講演は、「さばえ SDGs推進センター 地域おこし協力隊」の川口サマンサさん（カナダ出身）から「SDGsと多様性～外国人の視点で考えるサステナビリティ～」と題して行われた。

## 連合・教育文化協会より 第21回「私の提言」募集のご案内

連合・教育文化協会共催 第21回

# 「私の提言」募集

**募集テーマ**  
働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと  
(オリジナルで未発表のものに限る)

**応募締切** 2024年7月22日(月)

| 表彰          |             |            |              |
|-------------|-------------|------------|--------------|
| <b>優秀賞</b>  | <b>佳作賞</b>  | <b>奨励賞</b> | <b>学生特別賞</b> |
| 1名          | 若干名         | 若干名        | 1名           |
| 表彰盾と副賞      | 賞状と副賞       | 賞状と副賞      | 賞状と副賞        |
| <b>20万円</b> | <b>10万円</b> | <b>3万円</b> | <b>12万円</b>  |
|             |             |            | 奨学金1万円×12ヶ月  |

☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者および審査対象外となった方を除く)。  
☆発表 2024年9月20日(金)

**応募資格**  
**どなたでも応募**いただけます

**応募方法**  
 Webサイトの応募フォームから応募

**応募・お問い合わせ先**  
 公益社団法人 教育文化協会  
 E-mail [info-ilec@sv.rengo-net.or.jp](mailto:info-ilec@sv.rengo-net.or.jp)  
 電話 03-5295-5421

詳しくは 教育文化協会 私の提言 検索